

実施要項

1	名称	「ガス警報器 リメイク運動」(ガス警報器 設置・交換運動)
2	目標	ガス警報器のより一層の普及を促進する。
3	期間	2024年(令和6年)4月~2030年(令和12年)3月(7年間)
4	実施体制	一般社団法人全国LPガス協会、都道府県LPガス協会をはじめ七液協等の関係団体及び国、都道府県等の行政機関と連携を密にし、実施する。

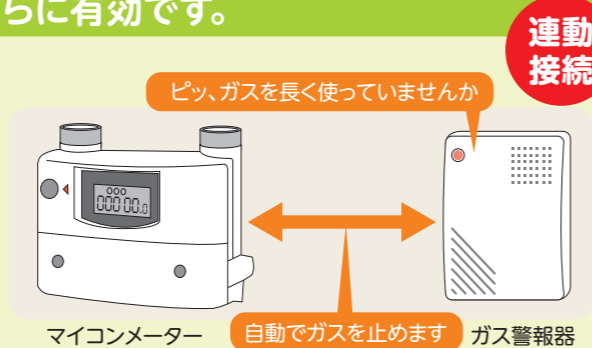
令和5年度表彰(令和4年度実績)

各都道府県の安全機器の普及状況報告書の数値をベースとして、以下の4項目について、各上位5位までの都道府県LPガス協会を表彰した。

表彰基準	実質設置率 (単位:%)	期限切れ一掃率 (単位:ポイント) 前年比で普及率が低下した地域は対象外とする。	業務用換気 警報器の設置率 (CO警報器を含む) (単位:%)	業務用施設の SB(EB)メーターと ガス警報器との 連動率(単位:%)
順位	1 新潟県 2 大分県 3 岩手県 4 北海道 5 山形県	1 奈良県 2 宮崎県 3 高知県 4 和歌山県 5 佐賀県	1 大分県 2 富山県 3 大阪府 4 山口県 5 茨城県	1 沖縄県 2 佐賀県 3 山形県 4 青森県 5 北海道

ガス警報器とガスメーターとの連動がさらに有効です。

ガス警報器は、ガスメーターと連動していれば、警報に気が付かなくてもガス漏れを検知して、自動でガスを止めることができるので、より事故防止の効果があります。また、長時間連続使用でガス遮断が頻発するお客様には、遮断する前に遮断予告がガス警報器から発報され、予期せずにガスが止まるのを回避できます。



ガス警報器は音声型がおすすめです。



最近、家庭内に冷蔵庫、目覚まし時計、スマートフォンなど電子音を発生する機器が多くなりました。ガス漏れ警報をご高齢の方やお子様達にも、わかりやすくお伝えする、音声型警報器の取り付けがおすすめです。

スマホから右記のQRコードにアクセスすると、ガス警報器工業会のホームページ掲載の警報音(ブザー音・音声警報音)の代表例を聞くことができます。



ガス警報器工業会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-16-4 アーバン虎ノ門ビル 4F
TEL.03-5157-4777 FAX.03-3597-2717 E-mail:gkk-info@gkk.gr.jp URL:https://www.gkk.gr.jp/

2024.04 7K

2024年度版 「ガス警報器 リメイク運動」のご案内

付けて安心、使って実感、ガス警報器のある豊かな暮らし



(2024年度ポスター)

ガス警報器工業会

2024年度(令和6年度)のリメイク運動の活動方針について

LPガス警報器は、昭和61年(1986年)にスタートした、官民が一体となって進めた「LPガス安全機器普及活動」により、全国的に普及が図られ、それに伴いLPガス事故は大幅に減少しました。LPガス事故の発生件数は、平成7年(1995年)頃までは減少傾向にありましたが、その後、増加に転じ、平成18年(2006年)以降は200件前後の事故件数となっています。

一方、LPガス警報器の普及率は、平成8年(1996年)には99%とほぼ全世帯に普及していましたが、近年は約80%と横ばいの状況にあります。

このため、ガス警報器工業会では、平成24年(2012年)4月から、LPガス警報器の設置率向上を図ることにより、LPガス事故の減少に寄与することを目的に、「新たなガス警報器の設置促進運動」を「リメイク運動」と称して、一般社団法人全国LPガス協会の保安啓発運動と連動し、監督官庁をはじめ関係団体等のご協力も得て、運動を展開させていただいています。

経済産業省では、2030年の死亡事故ゼロに向けて、令和3年度から今後10年間を見据えた総合的なガス保安対策として「液化石油ガス安全高度化計画2030」を策定し、そのアクションプランに「ガス警報器の機能の高度化及び設置の促進等」、「業務用換気警報器・CO警報器の設置促進」を図るべきと明記されました。

当工業会では、令和6年度(2024年度)以降、新たな活動基本計画を策定し、国の「液化石油ガス安全高度化計画2030」に連携する目標年次設定を行い、令和8年度に必要なに応じて計画見直しを行うこととしました。基本計画では、ガス警報器設置率100%に向け、継続してLPガス警報器の設置・交換促進運動はもとより、CO中毒事故防止に向けた業務用換気警報器の設置率向上に積極的に取り組みます。さらに業界上げて推進するガス警報器とメーターとの連動率向上を支援するとともに、LPガス事業者の自主保安活動に積極的に協力してまいります。LPガス販売事業者を始め、関係団体の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

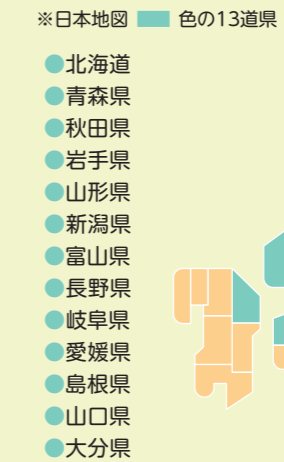
リメイク運動 目標の達成状況(令和4年度実績)

総合(業務用、共同住宅、一般住宅の合計)の実質設置率 都道府県LPガス協会別順位表

順位	都道府県	実質設置率	順位	都道府県	実質設置率
1	新潟県	90.61%	25	石川県	64.87%
2	大分県	88.04%	26	高知県	64.38%
3	岩手県	87.00%	27	栃木県	63.61%
4	北海道	86.96%	28	京都府	63.31%
5	山形県	85.70%	29	熊本県	62.81%
6	富山県	85.44%	30	東京都	61.42%
7	山口県	85.43%	31	千葉県	61.05%
8	長野県	85.40%	32	神奈川県	59.20%
9	秋田県	85.05%	33	滋賀県	59.19%
10	愛媛県	83.78%	34	山梨県	57.65%
11	青森県	82.72%	35	福井県	56.36%
12	宮城県	80.37%	36	長崎県	55.94%
13	岐阜県	78.29%	37	茨城県	55.11%
14	島根県	78.21%	38	群馬県	53.41%
15	鳥取県	75.28%	39	大阪府	51.88%
16	広島県	75.27%	40	埼玉県	51.06%
17	香川県	74.25%	41	宮崎県	49.46%
18	福島県	74.21%	42	徳島県	49.37%
19	静岡県	73.86%	43	鹿児島県	47.41%
20	福岡県	73.47%	44	奈良県	44.36%
21	沖縄県	72.37%	45	佐賀県	42.33%
22	岡山県	69.64%	46	和歌山県	36.80%
23	愛知県	66.15%	47	三重県	30.99%
24	兵庫県	65.79%		全国平均	68.74%

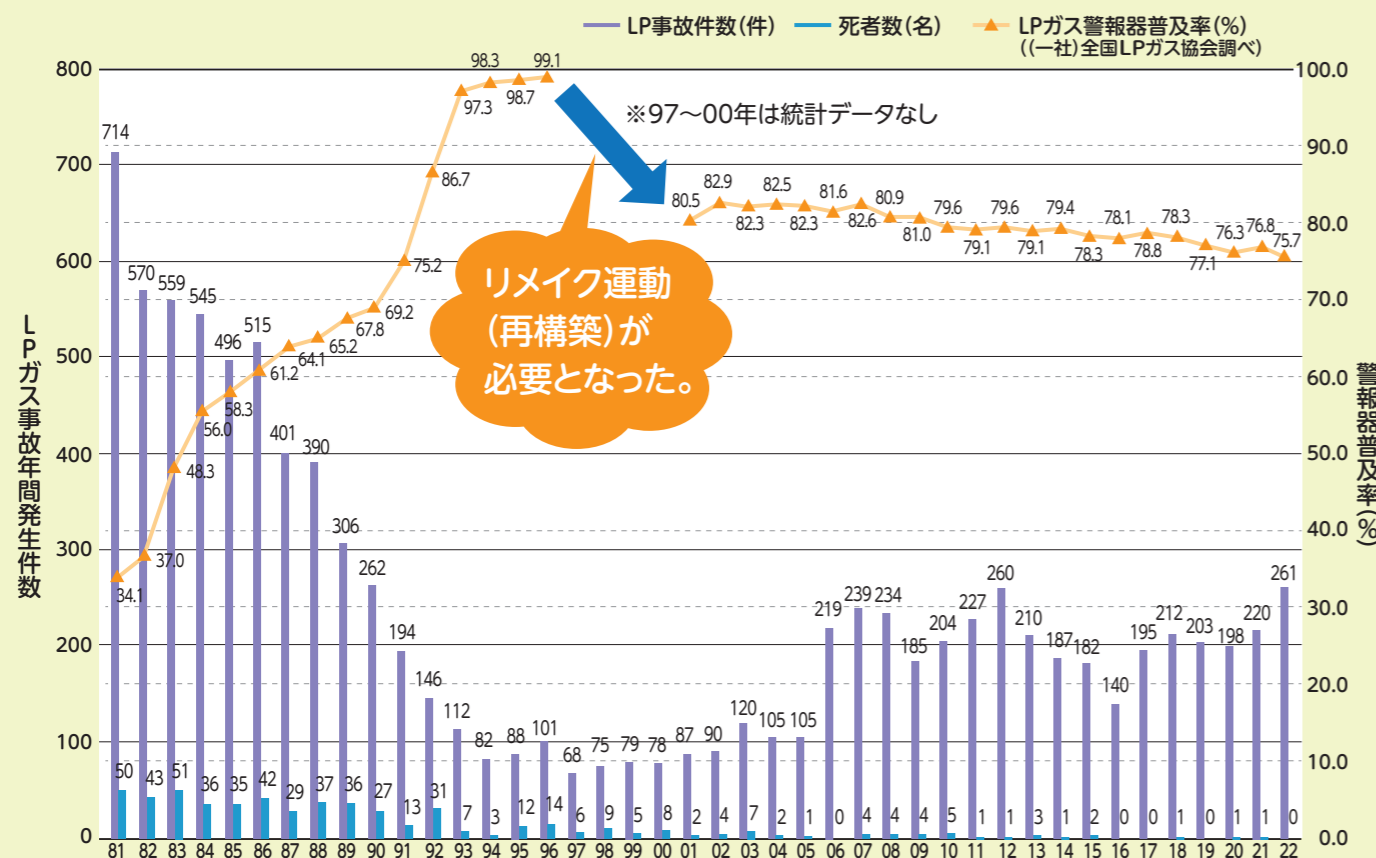
※実質設置率:期限切れを除いた設置率
リメイク運動目標:一般住宅の実質設置率75%以上

一般住宅においてリメイク運動目標を達成された都道府県



・令和5年3月末現在 (一社)全国LPガス協会調査データの一部を利用 注)実質設置率=(設置済戸数-期限切れ戸数)÷設置必要戸数

事故件数とLPガス警報器普及率の推移



ガス警報器の有用性

ガス警報器とマイコンメーターの役割の違い

ガス事故防止のためには、ガス漏れを早期に発見して、処置を行うことが非常に重要です。マイコンメーターに加えガス警報器を設置することで安全性が高まります。

役割

ガスそのものを検知

ガス警報器

(屋内)

爆発の可能性のある限界濃度(約2%)の1/4(約0.5%)で鳴動

屋内でお客様に警報音でガス漏れを知らせる

ガス警報器 + マイコンメーター

(屋内)

役割

ガスの流れを監視

マイコンメーター

(屋外)

微量の漏洩を検知できる

ガスの流れの異常時、地震や圧力異常時に自動でガスを止める

併設

(屋外)